●消火器

|  |  |
| --- | --- |
| 項目 | 適合状況 |
| 設置個数 | 個 |
| 能力単位の数値 | 単位 |
| 設置する消火器具の種類 |  |
| 設置場所等 | [ ] 歩行距離が20m（大型消火器にあっては30m）以下となるように配置している。 |
| [ ] 床面からの高さが1.5m以下の箇所に設置している。 |
| [ ] 周囲温度は、消火器の使用温度範囲内である。 |
| 標識 | [ ] 消火器具の標識が適正に設けてある。 |
| 型式番号 |  |

●屋内消火栓設備

|  |  |
| --- | --- |
| 項目 | 適合状況 |
| 屋内消火栓種類 | [ ] 1号 [ ] 1号（易操作性）[ ] 2号イ [ ] 2号ロ　[ ] 1号、2号併設 |
| 水源 | 計画水量 | ｍ３ |
| 他の消防用設備等と兼用 |  |
| 　配管等 | 専用又は兼用 | [ ] 専用[ ] 兼用（　　　　　　） |
| 連結送水管と兼用（連結送水管の設計送水圧力1.0MPaを超えるもの） | [ ] 屋内消火栓設備のポンプの二次側に呼び圧力16K以上の逆止弁を設けている。 |
| 配管の材質 |  |
| 管継手の種類及び材質 |  |
| バルブ類の材質 |  |
| 加圧送水装置 | ポンプ | 放水性能 | 放水圧力 | 　　　　MPa以上　　　MPa以下 |
| 放水量 | ℓ/分 |
| 計画定格吐出量 | ℓ/分以上 |
| 計画定格全揚程 | m |
| 計画電動機出力 | kw |
| 放水圧力が0.7MPaを超えないための措置 |  |
| 呼水装置 | L |
| 呼水槽減水警報の表示場所 |  |
| 認定番号 |  |
| 高架水槽 | 計画落差 | m |
| 圧力水槽 | 計画圧力 | MPa |
| 起動装置 | 1号消火栓 | [ ] 直接操作（ポンプ制御盤の起動スイッチの操作によるもの）及び遠隔操作（屋内消火栓箱の内部又はその直近に設けられている起動スイッチの操作によるもの）である。 |
| 2号消火栓 | [ ] 直接操作により起動でき、かつ、開閉弁の開放、消防用ホースの延長操作等と連動して、起動することができる。 |
| 起動用水圧開閉装置の圧力 | MPa |
| 補助用高架水槽 | 補助用高架水槽から主管までの配管の呼び径 | A |
| 材質 |  |
| 有効水量 | ｍ３以上 |
| 他の消防用設備等との兼用 |  |
| 減水警報の表示場所 |  |
| 屋内消火栓箱の位置 | [ ] 階の各部分から1のホース接続口までの水平距離が25m又は15m以下 |
| 耐震措置 | 加圧送水装置の吸水管側（床置式水槽から接続される管又は横引き部分の長さが1m以上の配管に限る。）、吐出管側及び補助用高架水槽等の吐出管側 | [ ] 可とう性のある継手を用いて接続している。 |
| 貯水槽、加圧送水装置、配管、非常電源等 | [ ] 地震による震動等により破壊、移動、転倒を生じないように固定用金具、アンカーボルト等で壁、床、はり等に堅固に固定している。 |
| 認定番号 | 消火栓開閉弁 |  |
| ノズル及び管そう |  |
| 易操作性1号消火栓・2号イ消火栓・2号ロ消火栓 |  |
| 非常電源 | [ ] 非常電源専用受電設備[ ] 自家発電設備[ ] 蓄電池設備[ ] 燃料電池設備 |

●スプリンクラー設備

|  |  |
| --- | --- |
| 項目 | 適合状況 |
| スプリンクラーヘッドの種類 | [ ] 閉鎖型ヘッド（[ ] 標準型　[ ] 小区画型　[ ] 側壁型）[ ] 開放型ヘッド　[ ] 放水型ヘッド |
| 水源 | 計画水量 | ｍ３ |
| 他の消防用設備等と兼用 |  |
| 配管等 | 専用又は兼用 | [ ] 専用[ ] 兼用（　　　　　　） |
| 配管の材質 |  |
| 管継手の種類及び材質 |  |
| バルブ類の材質 |  |
| 加圧送水装置 | ポンプ | 計画定格吐出量 | ℓ/分以上 |
| 計画定格全揚程 | m |
| 計画電動機出力 | Kw |
| 放水圧力が１MPaを超えないための措置 |  |
| 呼水装置 | L |
| 呼水槽減水警報の表示場所 |  |
| 認定番号 |  |
| 高架水槽 | 計画落差 | m |
| 圧力水槽 | 計画圧力 | MPa |
| 閉鎖型 | 起動装置 | [ ] 自動火災報知設備の感知器[ ] 流水検知装置[ ] 起動用水圧開閉装置（　　　　　MPa） |
| 自動警報装置 | [ ] 流水検知装置[ ] 圧力検知装置 |
| 音響警報装置の種類 |  |
| 表示装置の設置場所 |  |
| 末端試験弁の位置 |  |
| 開放型 | 自動起動装置 | [ ] 自動火災報知設備の感知器[ ] 火災感知用ヘッド[ ] 開放による圧力検知装置 |
| 手動起動装置 | [ ] 直接操作[ ] 遠隔操作 |
| 自動警報装置の発信部 | [ ] 流水検知装置[ ] 圧力検知装置 |
| 音響警報装置の種類 |  |
| 表示装置の設置場所 |  |
| 末端試験弁の位置等 |  |
| 放水型 | ヘッドの種別 | [ ] 固定型ヘッド（[ ] 小型 [ ] 大型）[ ] 可動式ヘッド |
| 感知部及び放水部の連動 | [ ] 自動放水[ ] 手動放水 |
| 型式番号 | 流水検知装置 |  |
| 閉鎖型スプリンクラーヘッド |  |
| 流水検知装置の二次側に圧力の設定を必要とするスプリンクラー設備 | [ ] 当該流水検知装置の圧力設定値よりも二次側の圧力が低下した場合に自動的に警報する。 |
| 送水口 | 結合金具 | [ ] 差込式で呼称65の受け |
| 認定番号 |  |
| 補助散水栓 | 放水圧力 | MPa以上 |
| 放水量 | L/min以上 |
| 非常電源 | [ ] 非常電源専用受電設備[ ] 自家発電設備[ ] 蓄電池設備[ ] 燃料電池設備 |

●水噴霧消火設備

|  |  |
| --- | --- |
| 項目 | 適合状況 |
| 水源 | 計画水量 | ｍ３ |
| 他の消防用設備等と兼用 |  |
| 配管等 | 専用又は兼用 | [ ] 専用[ ] 兼用（　　　　　　） |
| 配管の材質 |  |
| 管継手の種類及び材質 |  |
| バルブ類の材質 |  |
| 加圧送水装置 | ポンプ | 計画定格吐出量 | ℓ/分以上 |
| 計画定格全揚程 | m |
| 計画電動機出力 | kw |
| 放水圧力が1MPaを超えないための措置 |  |
| 呼水装置 | L |
| 呼水槽減水警報の表示場所 |  |
| 認定番号 |  |
| 高架水槽 | 計画落差 | m |
| 圧力水槽 | 計画圧力 | MPa |
| 起動装置 | 自動起動装置 | [ ] 自動火災報知設備の感知器の作動[ ] 閉鎖型スプリンクラーヘッドの開放[ ] 火災感知用ヘッドの作動若しくは開放と連動して加圧送水装置及び一斉開放弁を起動できるもの[ ] その他（　　　　　　　　　　　　） |
| 手動起動装置 | [ ] 直接操作[ ] 遠隔操作 |
| 排水設備 | 指定可燃物を貯蔵又は取扱う対象物 | [ ] 加圧送水装置の最大能力の水量を有効に排水できる大きさ及び勾配を有する |
| 道路の用に供される部分に設ける排水設備 | [ ] 道路には、排水溝に向かって有効に排水できる勾配を有する。[ ] 道路の中央又は路端には、排水溝を設ける[ ] 排水溝は、長さ40m以内ごとに１個の集水管を設け、消火ピットに連結する。[ ] 消火ピットは、油分離装置付とし、火災危険の少ない場所に設けること。[ ] 排水溝及び集水管は、加圧送水装置の最大能力の水量を有効に排水できる大きさ及び勾配を有する。 |
| 駐車の用に供される部分に設ける排水設備 | [ ] 車両が駐車する場所の床面には、排水溝に向かって2/100以上の勾配をつけ　る。[ ] 車両が駐車する場所には、車路に接する部分を除き、高さ10cm以上の区画境　界堤を設ける。[ ] 消火ピットは、油分離装置付とし、火災危険の少ない場所に設ける。[ ] 車路の中央又は両側には、排水溝を設けること。[ ] 排水溝は、長さ40m以内ごとに1個の集水管を設け、消火ピットに連結すること。[ ] 排水溝及び集水管は、加圧送水装置の最大能力の水量を有効に排水できる大きさ及び勾配を有すること。 |
| 型式番号 | 流水検知装置 |  |
| 閉鎖型スプリンクラーヘッド |  |
| 感知器 |  |
| 非常電源 | [ ] 非常電源専用受電設備[ ] 自家発電設備[ ] 蓄電池設備[ ] 燃料電池設備 |

●泡消火設備

|  |  |
| --- | --- |
| 項目 | 適合状況 |
| 泡放出口 | [ ] フォーム・ウォーター・スプリンクラーヘッド[ ] フォームヘッド |
| [ ] 高発泡用泡放出口 |
| 泡消火設備の方式 | [ ] 固定式（[ ] 全域 [ ] 局所） |
| [ ] 移動式 |
| 泡消火薬剤の種別 | [ ] たん白泡[ ] 合成界面活性剤[ ] 水成膜泡 |
| 泡消火薬剤 | 貯蔵量 | L |
| 希釈容量濃度 | % |
| 泡水溶液 | 計画量 | ｍ３ |
| 水源 | 計画量 | ｍ３ |
| 泡消火薬剤混合装置 | [ ] プレッシャー・サイド・プロポーショナー方式[ ] プレッシャー・プロポーショナー方式[ ] ポンプ・プロポーショナー方式 |
| 配管等 | 専用又は兼用 | [ ] 専用[ ] 兼用（　　　　　　） |
| 配管の材質 |  |
| 管継手の種類及び材質 |  |
| バルブ類の材質 |  |
| 加圧送水装置 | ポンプ | 計画定格吐出量 | ℓ/分以上 |
| 計画定格全揚程 | m |
| 計画電動機出力 | kw |
| 放水圧力が1MPaを超えないための措置 |  |
| 呼水装置 | L |
| 呼水槽減水警報の表示場所 |  |
| 認定番号 |  |
| 高架水槽 | 計画落差 | m |
| 圧力水槽 | 計画圧力 | MPa |
| 起動装置 | 自動起動装置 | [ ] 自動火災報知設備の感知器の作動[ ] 閉鎖型スプリンクラーヘッドの開放[ ] 火災感知用ヘッドの作動若しくは開放と連動して加圧送水装置及び一斉開放弁を起動できるもの[ ] その他（　　　　　　　　　　　　） |
| 手動起動装置 | [ ] 直接操作[ ] 遠隔操作 |
| 自動警報装置の発信部 | [ ] 流水検知装置 |
| [ ] 圧力検知装置 |
| 型式番号 | 泡消火薬剤 |  |
| 流水検知装置 |  |
| 一斉開放弁 |  |
| 閉鎖型スプリンクラーヘッド |  |
| 感知器 |  |
| 非常電源 | [ ] 非常電源専用受電設備[ ] 自家発電設備[ ] 蓄電池設備[ ] 燃料電池設備 |

●不活性ガス消火設備

|  |  |
| --- | --- |
| 項目 | 適合状況 |
| 消火薬剤の種別 | [ ] 二酸化炭素 |
| [ ] 窒素 |
| [ ] IG55 |
| [ ] IG541 |
| 放出方式 | [ ] 全域放出方式 |
| [ ] 局所放出方式 |
| [ ] 移動式 |
| 消火剤の量（設計貯蔵量） | kg |
| ヘッドの放射圧力 | MPa |
| 設計放射時間 | 秒 |
| 配管の材質 |  |
| 認定番号 | 閉止弁 |  |
| 選択弁 |  |
| 噴射ヘッド |  |
| 容器弁、安全装置及び破壊板 |  |
| 放出弁 |  |
| 制御盤 |  |
| 音響警報装置 |  |
| 不活性ガス消火設備用移動式ホース等 |  |
| 起動用ガス容器 | 内容積 |  |
| 充てん量 |  |
| 充てん比 |  |
| 起動装置 | [ ] 自動式 |
| [ ] 手動式 |
| 音響警報装置 | [ ] 音声 |
| [ ] サイレン |
| [ ] 手動又は自動による起動装置の操作又は作動と連動して自動的に警報を発するものであり、かつ、消火剤放射前に遮断されないものである。 |
| 排出措置 | 自然排出 | [ ] 局部的滞留をおこさないよう配置された開口部の面積（防護区画の高さの3分の2以下の位置に存する部分に限る。）の合計が、当該防護区画の床面積の10以上である。 |
| [ ] 防護区画以外の容易に到達することのできる場所から開放できる |
| 機械排出（排出ファン） | [ ] 専用　[ ] その他（　　　　　　　　　） |
| [ ] 1時間以内に放出された消火剤及び燃焼ガスを排出できるもの |
| 遅延装置（二酸化炭素消火設備） | 秒 |
| 非常電源 | [ ] 非常電源専用受電設備[ ] 自家発電設備[ ] 蓄電池設備[ ] 燃料電池設備 |

●ハロゲン化物消火設備

|  |  |
| --- | --- |
| 項目 | 適合状況 |
| 消火薬剤の種別 | [ ] ハロン2402 |
| [ ] ハロン1211 |
| [ ] ハロン1301 |
| [ ] HFC-23 |
| [ ] HFC-227ea |
| [ ] FK-5-1-12 |
| 放出方式 | [ ] 全域放出方式 |
| [ ] 局所放出方式 |
| [ ] 移動式 |
| 消火剤の量（設計貯蔵量） | kg |
| ヘッドの放射圧力 | MPa |
| 設計放射時間 | 秒 |
| 配管の材質 |  |
| 認定番号 | 選択弁 |  |
| 噴射ヘッド |  |
| 容器弁、安全装置及び破壊板 |  |
| 放出弁 |  |
| 制御盤 |  |
| ハロゲン化物消火設備用移動式ホース等 |  |
| 起動用ガス容器 | 内容積 |  |
| 充てん量 |  |
| 充てん比 |  |
| 起動装置 | [ ] 自動式 |
| [ ] 手動式 |
| 音響警報装置 | [ ] 音声 |
| [ ] サイレン |
| [ ] 手動又は自動による起動装置の操作又は作動と連動して自動的に警報を発するものであり、かつ、消火剤放射前に遮断されないものである。 |
| 排出措置 | 自然排出 | [ ] 局部的滞留をおこさないよう配置された開口部の面積（防護区画の高さの3分の2以下の位置に存する部分に限る。）の合計が、当該防護区画の床面積の1以上である。 |
| [ ] 防護区画以外の容易に到達することのできる場所から開放できる |
| 機械排出（排出ファン） | [ ] 専用　[ ] その他（　　　　　　　　　） |
| [ ] 1時間以内に放出された消火剤及び燃焼ガスを排出できるもの |
| 遅延装置 | 秒 |
| 非常電源 | [ ] 非常電源専用受電設備[ ] 自家発電設備[ ] 蓄電池設備[ ] 燃料電池設備 |

●粉末消火設備

|  |  |
| --- | --- |
| 項目 | 適合状況 |
| 消火薬剤の種別 | [ ] 第1種粉末 |
| [ ] 第2種粉末 |
| [ ] 第3種粉末 |
| [ ] 第4種粉末 |
| 放出方式 | [ ] 全域放出方式 |
| [ ] 局所放出方式 |
| [ ] 移動式 |
| 消火剤の量（設計貯蔵量） | kg |
| ヘッドの放射圧力 | MPa |
| 設計放射時間 | 秒 |
| 配管の材質 |  |
| 認定番号 | 選択弁 |  |
| 噴射ヘッド |  |
| 容器弁、安全装置及び破壊板 |  |
| 放出弁 |  |
| 制御盤 |  |
| 定圧作動装置 |  |
| 粉末消火設備用移動式ホース等 |  |
| 加圧用ガス容器 | ガスの種類 |  |
| 必要なガス量 |  |
| 充てん量 |  |
| 起動用ガス容器 | 内容積 |  |
| 充てん量 |  |
| 充てん比 |  |
| 起動装置 | [ ] 自動式 |
| [ ] 手動式 |
| 音響警報装置 | [ ] 音声 |
| [ ] サイレン |
| [ ] 手動又は自動による起動装置の操作又は作動と連動して自動的に警報を発するものであり、かつ、消火剤放射前に遮断されないものである。 |
| 排出措置 | [ ] 貯蔵容器等には残留ガスを排出するための排出装置を、配管には残留消火剤を処理するためのクリーニング装置を設ける。 |
| 遅延装置 | 秒 |
| 非常電源 | [ ] 非常電源専用受電設備[ ] 自家発電設備[ ] 蓄電池設備[ ] 燃料電池設備 |

●屋外消火栓設備

|  |  |
| --- | --- |
| 項目 | 適合状況 |
| 水源 | 計画水量 | ｍ３ |
| 他の消防用設備等と兼用 |  |
| 配管等 | 専用又は兼用 | [ ] 専用[ ] 兼用（　　　　　　） |
| 配管の材質 |  |
| 管継手の種類及び材質 |  |
| バルブ類の材質 |  |
| 加圧送水装置 | ポンプ | 放水性能 | 放水圧力 | 　　　　MPa以上　　　MPa以下 |
| 放水量 | ℓ/分 |
| 計画定格吐出量 | ℓ/分以上 |
| 計画定格全揚程 | m |
| 計画電動機出力 | kw |
| 放水圧力が0.7MPaを超えないための措置 |  |
| 呼水装置 | L |
| 呼水槽減水警報の表示場所 |  |
| 認定番号 |  |
| 高架水槽 | 計画落差 | m |
| 圧力水槽 | 計画圧力 | MPa |
| 起動装置 | [ ] 直接操作（ポンプ制御盤の起動スイッチの操作によるもの）及び遠隔操作（屋内消火栓箱の内部又はその直近に設けられている起動スイッチの操作によるもの）である。 |
| 耐震措置 | 加圧送水装置の吸水管側（床置式水槽から接続される管又は横引き部分の長さが１ｍ以上の配管に限る。）、吐出管側及び補助用高架水槽等の吐出管側 | [ ] 可とう性のある継手を用いて接続している。 |
| 貯水槽、加圧送水装置、配管、非常電源等 | [ ] 地震による震動等により破壊、移動、転倒を生じないように固定用金具、アンカーボルト等で壁、床、はり等に堅固に固定している。 |
| 非常電源 | [ ] 非常電源専用受電設備[ ] 自家発電設備[ ] 蓄電池設備[ ] 燃料電池設備 |

●動力消防ポンプ設備

|  |  |
| --- | --- |
| 項目 | 適合状況 |
| 種別 | [ ] 消防ポンプ自動車[ ] 可搬消防ポンプ（[ ] 自動車に牽引されるもの） |
| 水源 | 計画水量 | ｍ３ |
| 他の消防用設備等と兼用 |  |
| 動力消防ポンプ | 型式番号 |  |
| 規格放水量 | ｍ3/min |
| 規格放水圧力 | MPa |
| ポンプの級別 |  |

●自動火災報知設備

|  |  |
| --- | --- |
| 項目 | 適合状況 |
| 受信機 | [ ] 蓄積式　[ ] 二信号式　[ ] アナログ式　[ ] 自動試験機能付き　[ ] 遠隔試験機能付き |
| [ ]  P型　　級[ ]  GP型　　級[ ]  R型（自火報　　　　　点、その他　　　　 点、予備　　　　 点）[ ]  GR型（自火報 点その他　　　　 点、予備　　　　　 点） |
| 予備電源（DC　　　　V　　　　） |
| 型式番号 | 受信機 | 受第　　　　　　　　　　　号 |
| 発信機 | 発第　　　　　　　　　　　号 |
| 中継器 | 中第　　　　　　　　　　　号 |
| 感知器 | 感第　　　　　　　　　　　号 |
| 地区音響装置 | 認評音第　　　　　　　　　号 |
| 予備電源 | 品評予第　　　　　　　　　号 |
| 感知器 | 階段及び傾斜路の垂直距離 | [ ] 15mごとの設置[ ] 10mごとの設置[ ] 7.5mごとの設置 |
| 地区音響装置 | 特定１階段等防火対象物 | [ ] カラオケボックス等で室内・外の音響が聞き取りにくい場所は他の警報音又は騒音と明らかに区別して聞き取ることができる |
| 地階を除く階数が5以上で延べ面積が3,000㎡を超える防火対象物又はその部分 | [ ] 出火階、直上階等に警報を発する措置及び一定の時間が経過した場合又は新たな火災信号を受信した場合の全区域に自動的に警報を発する |
| 非常電源 | [ ] 非常電源専用受電設備[ ] 自家発電設備[ ] 蓄電池設備[ ] 燃料電池設備[ ] バッテリー内臓 |

●ガス漏れ火災警報設備

|  |  |
| --- | --- |
| 項目 | 適合状況 |
| 受信機 | 型　　級 |
| 予備電源（DC　　　　V　　　　AH） |
| 型式番号 | 受信機 | 受第　　　　　　　　　号 |
| 中継器 | 中第　　　　　　　　　号 |
| 警報装置 | 検知区域警報装置 | [ ] 1ｍ離れた位置で70dB以上 |
| 検知器の標準遅延時間及び受信機の標準遅延時間の合計 | [ ] 60秒以内 |
| 非常電源 | [ ] 自家発電設備[ ] 蓄電池設備[ ] 燃料電池設備[ ] バッテリー内臓 |

●漏電火災警報器

|  |  |
| --- | --- |
| 項目 | 適合状況 |
| 受信機 | 予備電源（DC　　　　V　　　　AH） |
| 届出番号 | 受信機 |  |
| 中継器 |  |
| 検出漏洩電流設定値 | [ ]  100mAから400mA[ ]  400mAから800mA |

●消防機関へ通報する火災報知設備

|  |  |
| --- | --- |
| 項目 | 適合状況 |
| 認定番号 | 火通　　　　　　　　　　　号 |
| 蓄積音声情報の通報内容 |  |
| 予備電源の容量 |  |

●非常警報設備

|  |  |
| --- | --- |
| 項目 | 適合状況 |
| 種別 | [ ] 非常ベル　　　[ ] 自動式サイレン　　　[ ] 放送設備 |
| 非常ベル・自動式サイレン | 構成 | [ ] 複合装置　　[ ] 一体型　　[ ] その他 |
| 予備電源 | （DC　　　　V　　　　AH） |
| 認定番号 | 受信機 | 第　　　　　　　　　号 |
| 警報装置 | 検知区域警報装置 | [ ] １ｍ離れた位置で70dB以上 |
| 検知器の標準遅延時間及び受信機の標準遅延時間の合計 | [ ] 70秒以内 |
| 地区音響装置 | 特定1階段等防火対象物 | [ ] カラオケボックス等で室内・外の音響が聞き取りにくい場所は他の警報音又は騒音と明らかに区別して聞き取ることができる |
| 地階を除く階数が5以上で延べ面積が3,000㎡を超える防火対象物又はその部分 | [ ] 出火階、直上階等に警報を発する措置及び一定の時間が経過した場合又は新たな火災信号を受信した場合の全区域に自動的に警報を発する |
| 放送設備 | 認定番号 | 第　　　　　　　　　　号 |
| 増幅器定格出力 |  |
| 放送区分 | [ ] 一斉　[ ] 階別等選択 |
| 警報装置 | 回線数 | 　　　　　／ |
| 遠隔操作部 | [ ] 60秒以内 |
| 2以上の操作部又は遠隔操作器が設けられている場合 | [ ] 同時に通話できる |
| [ ] 全域に火災を報知することができる |
| 非常電源 | [ ] 蓄電池設備[ ] バッテリー内臓 |

●避難器具

|  |  |
| --- | --- |
| 項目 | 適合状況 |
| 設置場所と器具の種類 |  |
| 型式番号・認定番号 |  |
| 操作上必要な操作面積 |  |
| 取付部の開口部の大きさ |  |
| 避難器具設置等場所に設ける標識 | [ ] 避難器具を設置し、又は格納する場所（以下「避難器具設置等場所」という。）には、見やすい箇所に避難器具である旨及びその使用方法を表示する標識を設ける。 |
| 特定1階段等防火対象物に設ける標識 | [ ] 避難器具設置等場所の出入口の上部又はその直近に避難器具設置等場所であることが容易に識別できるように設ける。 |
| [ ] 避難器具設置等場所の存する階においては、当該階のエレベーターホール又は階段室（附室が設けられている場合には、当該附室）の出入口付近の見やすい箇所に、避難器具設置等場所を明示した標識を設ける。 |

●誘導灯

|  |  |
| --- | --- |
| 項目 | 適合状況 |
| 点滅機能又は音声誘導機能 | [ ] 自動火災報知設備の感知器の作動と連動して起動する |
| [ ] 避難口から避難する方向に設けられている感知器が作動した場合、当該避難口に設けられた誘導灯の点滅及び音声誘導が停止する |
| 消灯措置 | [ ] 誘導灯を消灯する場合は、特定の場所であって自動火災報知設備の感知器の作動と連動して点灯し、かつ、利用形態に応じて点灯するように措置されている |
| 非常電源 | [ ] 蓄電池設備[ ] バッテリー内臓 |

●消防用水

|  |  |
| --- | --- |
| 項目 | 適合状況 |
| 計画水量 | ｍ３ |
| 設置位置 | [ ] 地盤面下に設ける消防用水の有効水量は、地盤面から4.5m以内 |
| 防火水槽の吸管投入孔の大きさ |  |
| 採水口 | 配管の材質 | [ ] 屋内消火栓設備のポンプの二次側に呼び圧力16K以上の逆止弁を設けている。 |
| 採水口の口径 | [ ] 呼称65の差込式の単口 |
| 地盤面下４．５ｍ超 | 加圧送水装置 | 吐出量 | 　　　　ℓ/分 |
| 全揚程 | m |
| 起動装置等 | [ ] 採水口の直近に、遠隔起動装置又は防災センター等への通話装置の設置 |
| [ ] 遠隔起動装置又は連絡装置の直近には、赤色の灯火を設ける |
| [ ] 採水口の直近には、加圧送水装置の始動を明示する赤色の起動表示灯を設ける |
| [ ] 遠隔起動装置又は連絡装置にとびらを設け施錠するものにあっては、鍵を防災センター等に常時使用できるよう保管 |
| 非常電源 | [ ] 非常電源専用受電設備[ ] 自家発電設備[ ] 蓄電池設備[ ] 燃料電池設備 |

●排煙設備

|  |  |
| --- | --- |
| 項目 | 適合状況 |
| 排煙口の構造 | [ ] 当該排煙口から排煙している場合において、排煙に伴い生ずる気流により閉鎖するおそれのないものである |
| [ ] 排煙用の風道に接続されているものにあっては、当該排煙口から排煙しているとき以外は閉鎖状態にあり、排煙上及び保安上必要な気密性を保持できるものである |
| 給気口の構造 | [ ] 当該給気口から給気している場合において、給気に伴い生ずる気流により閉鎖するおそれのないもの。 |
| [ ] 給気用の風道に接続されているものにあっては、当該給気口から給気しているとき以外は閉鎖状態にあり、給気上及び保安上必要な気密性を保持できるもの |
| 風道 | 構造 | [ ] 排煙上又は給気上及び保安上必要な強度、容量及び気密性を有するもの |
| [ ] 風道内の煙の熱により、周囲への過熱、延焼等が発生するおそれがある場合にあっては、風道の断熱、可燃物との隔離等の措置を講ずる |
| 耐火構造の壁又は床を貫通する箇所その他延焼の防止上必要な箇所にダンパーを設ける場合 | [ ] 外部から容易に開閉することができる。[ ] 防火上有効な構造を有するものである。[ ] 火災により風道内部の温度が著しく上昇したとき以外は、閉鎖しない。この場合において、自動閉鎖装置を設けたダンパーの閉鎖する温度は、280度以上[ ] 消火活動拠点に設ける排煙口又は給気口に接続する風道には、自動閉鎖装置を設けたダンパーを設置しない。 |
| 起動装置 | 手動起動 | [ ] 防煙区画内を見とおすことができ、火災のとき容易に接近できる箇所に設ける |
| 自動起動 | [ ] 防災センター等に自動手動切替え装置を設ける |
| [ ] 自動火災報知設備の感知器の作動、閉鎖型スプリンクラーヘッドの開放又は火災感知用ヘッドの作動若しくは開放と連動して起動 |
| 排　煙　機　等 | 排煙機の性能（排煙機による場合） | 消火活動拠点 | 　　　　　　　　　　　　㎥/分 |
| 消火活動拠点以外 | ㎥/分 |
| 排煙口の面積の合計（排煙口による場合） | 消火活動拠点 | 　　　　　　　　　　　　　　㎡ |
| 消火活動拠点以外 | 　　　　　　　　　　　　　　㎡ |
| 給気機の性能又は給気口の面積の合計 | 消火活動拠点 |  |
| 非常電源 | [ ] 非常電源専用受電設備[ ] 自家発電設備[ ] 蓄電池設備[ ] 燃料電池設備 |

●連結散水設備

|  |  |
| --- | --- |
| 項目 | 適合状況 |
| ヘッド種別 | [ ] 開放型散水ヘッド　　[ ] 閉鎖型散水ヘッド[ ] 閉鎖型スプリンクラー　ヘッド |
| 水源 | 計画水量 | ｍ３ |
| 他の消防用設備等と兼用 |  |
| 　配管等 | 配管の材質 |  |
| 管継手の種類及び材質 |  |
| バルブ類の材質 |  |
| 管の接続 | [ ] ねじ接続　[ ] 差込み溶接式の管継手　[ ] 耐熱措置を講じたフランジ継手 |
| 送水口 | 結合金具 | [ ] 差込式で呼称65の受け口 |
| ホース接続口 | [ ] 各送水区域ごとに設ける（選択弁を設ける場合を除く） |
| 2以上の送水区域がある場合 | [ ] 送水すべき区域が確認できる表示装置（赤色の灯火）を設ける |
| 表示装置 | [ ] 専用の熱感知器の作動と連動する |
| 標識 | [x] 直近の見やすい箇所に送水口である旨を表示した標識を設けるとともに、送水区域、選択弁及び送水口を明示した系統図を設ける |
| 認定番号 |  |
| 加圧送水装置 | ポンプ | 放水性能 | 放水圧力 | 　　　　MPa以上　　　MPa以下 |
| 放水量 | ℓ/分 |
| 計画定格吐出量 | ℓ/分以上 |
| 計画定格全揚程 | m |
| 計画電動機出力 | kw |
| 放水圧力が0.7MPaを超えないための措置 |  |
| 呼水装置 | L |
| 呼水槽減水警報の表示場所 |  |
| 起動 | [ ] 流水検知装置 |
| [ ] 起動用水圧開閉装置 |
| 認定番号 |  |
| 高架水槽 | 計画落差 | m |
| 圧力水槽 | 計画圧力 | MPa |
| 補助用高架水槽 | 補助用高架水槽から主管までの配管の呼び径 | A |
| 材質 |  |
| 有効水量 | ｍ３以上 |
| 他の消防用設備等との兼用 |  |
| 減水警報の表示場所 |  |
| 非常電源 | [ ] 非常電源専用受電設備[ ] 自家発電設備[ ] 蓄電池設備[ ] 燃料電池設備 |

●連結送水管

|  |  |
| --- | --- |
| 項目 | 適合状況 |
| 送水口 | 結合金具 | [ ] 差込式で呼称65の受け口 |
| 認定番号 |  |
| 放水口 | 機器 | [ ] 差込式で呼称の受け口 |
| [ ] 11階以上の部分は双口形 |
| 認定番号 |  |
| 放水用器具 | [ ] 11階以上の部分に設ける放水口には、放水用器具を附置する。 |
| [ ] 呼称65、長さ20mのホース4本以上及び噴霧切替ノズル本以上とするほか、消防庁長官の定める基準に適合するもの |
| 　配管等 | 専用又は兼用 | [ ] 専用[ ] 兼用（　　　　　　） |
| 設計送水圧力 | [ ] 1MPaを超える　[ ] 1MPa以下 |
| 配管の材質 |  |
| 管継手の種類及び材質 |  |
| バルブ類の材質 |  |
| 階数が十一以上 | （加圧送水装置）七十ｍを超える建築物 | 計画定格吐出量 | ℓ/分 |
| 計画定格全揚程 | m |
| 認定番号  |  |
| 起動装置の遠隔操作部の位置 | [ ] 送水口の直近[ ] 防災センター等 |
| 遠隔操作部が防災センター等に設置されている場合 | [ ] 送水口の直近から相互に通話できる装置の設置 |
| 非常電源 | [ ] 非常電源専用受電設備[ ] 自家発電設備[ ] 蓄電池設備[ ] 燃料電池設備 |

●非常コンセント設備

|  |  |
| --- | --- |
| 項目 | 適合状況 |
| 設置場所・方法等 | [ ] 床面又は階段の路面からの高さ1m以上1.5m以下の位置 |
| [ ] 保護箱内に設ける |
| [ ] 日本産業規格C8303の接地形2極コンセントのうち定格が15A、125Vのものに適合するもの |
| [ ] 非常コンセントの刃受の接地極には、Ｄ種接地工事を施す |
| [ ] 各階1の保護箱に2個以上のコンセントを設ける |
| [ ] 電気を供給する電源からの回路は、各階において2以上となるように設ける（階ごとの非常コンセントの数（保護箱数）が1個のときは、回路） |
| [ ] 1回路に設ける非常コンセントの数（保護箱数）は、10以下とする |
| [ ] 非常コンセントの保護箱の上部に、赤色の灯火を設ける |
| [ ] 各階に設ける非常コンセントに100V、15A以上の容量を有効に供給できる電線を用いる |
| [ ] 非常コンセントに電気を供給する電源からの回路は、各階において、2以上となるように設けること。ただし、階ごとの非常コンセントの数（保護箱数）が1個のときは、1回路とすることができる。 |
| [ ] 専用回路の幹線から各階の非常コンセントに分岐する場合は、分岐用の配線用遮断器を保護箱内に設ける |
| 保護箱 | [ ] 耐火構造の壁に埋め込む[ ] 配電盤及び分電盤の基準（昭和56年消防庁告示第10号）に準じたものを設ける |
| [ ] 非常コンセントは、他の設備と不燃材料で区画 |
| [ ] 保護箱の扉は、屋内消火栓箱等とは別開きができる |
| [ ] 保護箱内に電気が供給されていることがわかる灯火を設ける |
| 表示等 | [ ] 非常コンセントの保護箱には、その表面に「非常コンセント」と表示する |
| [ ] 非常コンセントの保護箱の上部に赤色の灯火を設ける。 |
| 非常電源 | [ ] 非常電源専用受電設備[ ] 自家発電設備[ ] 蓄電池設備[ ] 燃料電池設備 |

●無線通信補助設備

|  |  |
| --- | --- |
| 項目 | 適合状況 |
| 周波数帯 | メガヘルツ |
| 無線通信補助設備の方式 | [ ] 漏洩同軸ケーブル　　[ ] 漏洩同軸ケーブルと空中線　　[ ] 同軸ケーブルと空中線 |
| 漏洩同軸ケーブル等 | [ ] 漏洩同軸ケーブル又は同軸ケーブルの公称インピーダンスは50Ωとし、空中線、分配器その他の装置は、当該インピーダンスに整合するもの |
| [ ] 難燃性を有し、かつ、湿気により電気的特性が劣化しないもの |
| [ ] 耐熱性を有するように、かつ、金属板等により電波の輻射特性が低下することのないように設置する |
| [ ] 漏洩同軸ケーブル等及び分配器等の接続部には、防水上適切な措置を講じる |
| 増幅器 | 非常電源 | [ ] 蓄電池設備[ ] 非常電源専用受電設備 |
| 端子 | [ ] 日本産業規格C5411のC01形コネクタに適合するもの |
| [ ] 地上に設ける端子を収納する保護箱は、堅ろうでみだりに開閉できない構造とし、防塵上及び防水上の適切な措置を講じる |
| [ ] 保護箱の表面は、赤色とし「消防隊専用無線機接続端子」と表示する |
| [ ] 非常コンセントの保護箱の上部に赤色の灯火を設ける。 |

●総合操作盤

|  |  |
| --- | --- |
| 項目 | 適合状況 |
| 総合操作盤の構造及び機能 | [ ] 総合操作盤は認定品とする |
| 総合操作盤の設置方法 | [ ] 漏洩同軸ケーブル　　[ ] 漏洩同軸ケーブルと空中線　　[ ] 同軸ケーブルと空中線 |
| 漏洩同軸ケーブル等 | [ ] 漏洩同軸ケーブル又は同軸ケーブルの公称インピーダンスは50Ωとし、空中線、分配器その他の装置は、当該インピーダンスに整合するもの |
| [ ] 難燃性を有し、かつ、湿気によ電気的特性が劣化しないもの |
| [ ] 耐熱性を有するように、かつ、金属板等により電波の輻射特性が低下することのないように設置する |
| [ ] 漏洩同軸ケーブル等及び分配器等の接続部には、防水上適切な措置を講じる |
| 増幅器 | 非常電源 | [ ] 蓄電池設備[ ] 非常電源専用受電設備 |
| 端子 | [ ] 地上に設ける端子を収納する保護箱は、堅ろうでみだりに開閉できない構造とし、防塵上及び防水上の適切な措置を講じる |
| [ ] 保護箱の表面は、赤色とし「消防隊専用無線機接続端子」と表示する |
| [ ] 非常コンセントの保護箱の上部に赤色の灯火を設ける。 |

●フード等用簡易自動消火装置

|  |  |
| --- | --- |
| 項目 | 適合状況 |
| 種別 | [ ] フード・ダクト用　　　　[ ] レンジ用　　　[ ] フライヤー用　　　[ ] フード・レンジ用　[ ] フード・フライヤー用　　[ ] ダクト用　　　[ ] 下引きダクト用 |
| フード等用簡易自動消火装置の構造及び性能 | [ ] フード部とダクト部、レンジ部、フライヤー部は同時に消火剤を放出するものである |
| [ ] フード等用簡易自動消火装置は、認定品を使用する |
| [ ] フード部分と排気ダクト内部は同時に消火薬剤を放出するものである |
| [ ] 消火装置の作動と連動して、消火薬剤の影響を受けるおそれのある器具への燃料ガスの供給停止又は電源遮断ができるものである |
| [ ] 燃料停止装置（電磁弁等）は、原則としてガス工作物以外の範囲で水及び熱的影響並びに機械的衝撃等を受けない位置に設ける |
| [ ] 手動起動装置には、放出区域を表示する |
| [ ] 消火装置の作動した旨を音響及び表示により確認できる装置を設ける |
| [ ] 消火装置の作動と連動して排気ファンを停止させる構造とする |

●非常電源

|  |  |
| --- | --- |
| 項目 | 適合状況 |
| 非常電源の種類 | [ ] 非常電源専用受電設備　　[ ] 自家発電設備　　[ ] 蓄電池設備　　[ ] 燃料電池設備 |
| 非常電源の容量 | [ ] 非常電源の容量は、消防用設備等ごとに定められた容量以上である |
| 非常電源専用受電設備 | 低圧で受電する非常電源専用受電設備の配電盤又は分電盤の設置場所 | [ ] 第1種配電盤[ ] 第1種分電盤[ ] 第2種配電盤[ ] 第2種分電盤 |
| 自家発電設備・蓄電池設備・燃料電池設備 | [ ] 常用電源が停電したときは、自動的に非常電源に切り替えられる |

●パッケージ型消火設備

|  |  |
| --- | --- |
| 項目 | 適合状況 |
| 種別 | [ ] Ⅰ型　　[ ] Ⅱ型 |
| 認定番号 |  |
| 赤色の灯火の非常電源 | [ ] 容量20分以上を付置 |

●パッケージ型自動消火設備

|  |  |
| --- | --- |
| 項目 | 適合状況 |
| 認定番号 |  |
| 2以上の同時放射区域 | [ ] 受信装置及び作動装置は、共用する同時放射区域からの火災信号を受信することができ、かつ、消火薬剤を放出できるもの |
| [ ] 作動装置が作動してから30秒以内に消火薬剤を放射できる |
| 同時放射区域を2以上のパッケージ型自動消火設備により防護する場合、 | [ ] 同時に放射できるように作動装置等を連動させる |
| 非常電源 | [ ] 蓄電池設備[ ] その他（　　　　　） |

●共同住宅用スプリンクラー設備

|  |  |
| --- | --- |
| 項目 | 適合状況 |
| 水源 | 計画水量 | ｍ３ |
| 他の消防用設備等と兼用 |  |
| 配管等 | 専用又は兼用 | [ ] 専用[ ] 兼用（　　　　　　） |
| 配管の材質 |  |
| 管継手の種類及び材質 |  |
| バルブ類の材質 |  |
| 加圧送水装置 | ポンプ | 計画定格吐出量 | ℓ/分以上 |
| 計画定格全揚程 | m |
| 計画電動機出力 | kw |
| 放水圧力が１MPaを超えないための措置 |  |
| 呼水装置 | L |
| 呼水槽減水警報の表示場所 |  |
| 認定番号 |  |
| 高架水槽 | 計画落差 | m |
| 圧力水槽 | 計画圧力 | MPa |
| 制御弁 | [ ] パイプシャフト、パイプダクト等に設けるとともに、外部から容易に操作できる。 |
| 自動警報装置 | [ ] スプリンクラーヘッドの開放により音声警報を発するものである。 |
| 自動警報装置の発信部 | [ ] 流水検知装置[ ] 圧力検知装置 |
| 受信部 | [ ] 表示装置　　□総合操作盤　　[ ] 住棟受信機 |
| 音声警報装置の音圧 | dB以上 |
| 音声警報音 | [ ] シグナル[ ] メッセージ |
| 音声警報音（シグナル） | [ ] 非常警報設備の基準第4第3号（2）によること。 |
| 音声警報音（メッセージ） | [ ] 男声によるものとし、火災が発生した場所、避難誘導及び火災である旨の内容である。 |
| 音声警報を発する区域 | [ ] ヘッドが開放した住戸、共用室及び管理人室のほか、階段室型又は廊下型により適正に設定されている |
| 音声警報の構成 | [ ] 第1シグナル、メッセージ、1秒間の無音状態、第1シグナル、メッセージ、1秒間の無音状態、第2シグナルの順に連続する警報を1単位として、これを10分間以上連続して繰り返す。 |
| 流水検知装置 | [ ] 湿式のものである。 |
| 型式番号 | 流水検知装置 |  |
| 閉鎖型スプリンクラーヘッド |  |
| 非常電源 | [ ] 非常電源専用受電設備[ ] 自家発電設備[ ] 蓄電池設備[ ] 燃料電池設備 |

●特定駐車場用泡消火設備

|  |  |
| --- | --- |
| 項目 | 適合状況 |
| 特定駐車場用泡消火設備の種類 | [ ] 単純型平面式 |
| [ ] 感知継手開放ヘッド併用型平面式 |
| [ ] 感知継手泡ヘッド併用型平面式泡消火設備 |
| [ ] 一斉開放弁開放ヘッド併用型平面式泡消火設備 |
| [ ] 一斉開放弁泡ヘッド併用型平面式泡消火設備 |
| [ ] 機械式泡消火設備 |
| ヘッドの種類 | [ ] 閉鎖型泡水溶液ヘッド |
| [ ] 開放型泡水溶液ヘッド |
| 取り付ける場所の最高周囲温度 |  |
| 標示温度 |  |
| 泡消火薬剤の種別 | [ ] たん白泡[ ] 合成界面活性剤[ ] 水成膜泡 |
| 泡消火薬剤 | 貯蔵量 | L |
| 希釈容量濃度 | % |
| 泡水溶液 | 計画量 | ｍ３ |
| 水源 | 計画量 | ｍ３ |
| 泡消火薬剤混合装置 |  | [ ] プレッシャー・サイド・プロポーショナー方式[ ] プレッシャー・プロポーショナー方式[ ] ポンプ・プロポーショナー方式 |
| 配管等 | 専用又は兼用 | [ ] 専用[ ] 兼用（　　　　　　） |
| 配管の材質 |  |
| 管継手の種類及び材質 |  |
| バルブ類の材質 |  |
| 加圧送水装置 | ポンプ | 計画定格吐出量 | ℓ/分以上 |
| 計画定格全揚程 | m |
| 計画電動機出力 | kw |
| 放水圧力が1 MPaを超えないための措置 |  |
| 呼水装置 | L |
| 呼水槽減水警報の表示場所 |  |
| 認定番号 |  |
| 高架水槽 | 計画落差 | m |
| 圧力水槽 | 計画圧力 |  |
| 起動装置 | 自動起動装置 | [ ] 自動火災報知設備の感知器の作動[ ] 流水検知装置若しくは起動用水圧開閉装置の作動 |
| 手動起動装置 | [ ] 直接操作[ ] 遠隔操作 |
| 自動警報装置の発信部 | [ ] 流水検知装置 |
| [ ] 圧力検知装置 |
| 末端試験弁の位置 |  |
| 型式番号 | 泡消火薬剤 |  |
| 流水検知装置 |  |
| 一斉開放弁 |  |
| 閉鎖型スプリンクラーヘッド |  |
| 感知器 |  |
| 感知継手 | 認定番号 |  |
| 非常電源 | [ ] 非常電源専用受電設備[ ] 自家発電設備[ ] 蓄電池設備[ ] 燃料電池設備 |

●特定小規模施設用自動火災報知設備

|  |  |
| --- | --- |
| 項目 | 適合状況 |
| 受信機 | [ ] 蓄積式　[ ] 二信号式　[ ] アナログ式　[ ] 自動試験機能付き　[ ] 遠隔試験機能付き |
| [ ]  P型　　級[ ]  GP型　　級[ ]  R型 （自火報　　　　点、その他　　　　点、予備　　　　　点）[ ]  GR型（自火報　　　 点その他　　　　点、予備　　　　　点） |
| 予備電源（DC　　　　V　　　　AH） |
| 型式番号 | 受信機 | 受第　　　　　　　　　号 |
| 発信機 | 発第　　　　　　　　　号 |
| 中継器 | 中第　　　　　　　　　号 |
| 感知器 | 感第　　　　　　　　　号 |
| 地区音響装置 | 認評音第　　　　　　　　　号 |
| 予備電源 | 品評予第　　　　　　　　　号 |
| 非常電源 | [ ] 非常電源専用受電設備[ ] 蓄電池設備[ ] バッテリー内臓[ ] 電池 |

●複合型居住施設用自動火災報知設備

|  |  |
| --- | --- |
| 項目 | 適合状況 |
| 受信機 | [ ] 蓄積式　[ ] 二信号式　[ ] アナログ式　[ ] 自動試験機能付き　[ ] 遠隔試験機能付き |
| [ ]  P型　　級[ ]  GP型　　級[ ]  R型（自火報　　　　点、その他　　　　 点、予備　　　　　 点）[ ]  GR型（自火報　　　 点その他　　　　点、予備　　　　　点） |
| 予備電源（DC　　　　V　　　　AH） |
| 型式番号 | 受信機 | 受第　　　　　　　　　号 |
| 発信機 | 発第　　　　　　　　　号 |
| 中継器 | 中第　　　　　　　　　号 |
| 感知器 | 感第　　　　　　　　　号 |
| 地区音響装置 | 認評音第　　　　　　　　　号 |
| 予備電源 | 品評予第　　　　　　　　　号 |
| 非常電源 | [ ] 非常電源専用受電設備[ ] 蓄電池設備[ ] バッテリー内臓[ ] 電池 |

●共同住宅用自動火災報知設備

|  |  |
| --- | --- |
| 項目 | 適合状況 |
| 住棟用受信機 | [ ] 蓄積式　[ ] 二信号式　[ ] アナログ式　[ ] 自動試験機能付き　[ ] 遠隔試験機能付き |
| [ ]  P型　　級[ ]  GP型　　級[ ]  R型（自火報　　　　点、その他　　　　点、予備　　　　　点）[ ]  GR型（自火報　　　　点その他　　　　点、予備　　　　　点） |
| 予備電源（DC　　　　V　　　　AH） |
| 共同住宅用受信機 | [ ] Ｐ型3級　[ ] ＧＰ型3級[ ] その他（　　　　　　　　） |
| 型式番号 | 住棟用受信機 | 受第　　　　　　　　　　　号 |
| 共同住宅用受信機 | 受第　　　　　　　　　　　号 |
| 発信機 | 発第　　　　　　　　　　　号 |
| 中継器 | 中第　　　　　　　　　　　号 |
| 感知器 | 感第　　　　　　　　　　　号 |
| 音声警報装置 | 認評放第　　　　　　　　　号 |
| 予備電源 | 品評予第　　　　　　　　　号 |
| 　　火災警報の警報区域 | 住戸、共用室及び管理人室で火災の発生確認 | 階段室型特定共同住宅 | [ ] 当該住戸、共用室及び管理人室[ ] 当該住戸、共用室及び管理人室の主たる出入口が面する階段室等（開放型階段を除く。）のうち、6以上の階にわたらない部分を一の区域として当該区域及びその直上の区域並びに当該区域に主たる出入口が面する住戸等及びエレベーターの昇降路 |
| 廊下型特定共同住宅 | [ ] 当該住戸、共用室及び管理人室[ ] 当該住戸、共用室及び管理人室の存する階が2階以上の階に存する場合のあっては出火階及びその直上階、1階に存する場合にあっては出火階、その直上階及び地階、地階に存する場合にあっては出火階、その直上階及びその他の地階 |
| 倉庫等又は共用部分（階段室等、エレベーターの昇降路を除く）で火災の発生確認 | 階段室型特定共同住宅 | [ ] 当該倉庫等又は共用部分[ ] 当該倉庫等又は共用部分の主たる出入口が面する階段室等（開放型階段を除く。）のうち、6以上の階にわたらない部分を一の区域として当該区域、その直上の区域並びに当該区域に主たる出入口が面する住戸等及びエレベーターの昇降路 |
| 廊下型特定共同住宅 | [ ] 当該倉庫等又は共用部分[ ] 当該倉庫等又は共用部分の存する階が2階以上の階に存する場合のあっては出火階及びその直上階、1階に存する場合にあっては出火階、その直上階及び地階、地階に存する場合にあっては出火階、その直上階及びその他の地階 |
| 階段室等で火災の発生確認 | 階段室型特定共同住宅 | [ ] 当該階段室等（開放型階段を除く。）[ ] 当該階段室等に主たる出入口が面する住戸及び共用部分（エレベーターの昇降路を除く。） |
| 廊下型特定共同住宅 | [ ] 共用部分（エレベーターの昇降路を除く。） |
| エレベーターの昇降路で火災の発生確認 | 階段室型特定共同住宅 | [ ] 当該エレベーターが停止する最上階の警報区域（一の階段室等に主たる出入口が面している住戸等、共用部分及び当該階段室等（開放階段を除く。）のうち、6以上の階にわたらない区域） |
| 廊下型特定共同住宅 | [ ] エレベーターが停止する最上階に存する住戸等及び共用部分 |
| 非常電源 | [ ] 非常電源専用受電設備[ ] 蓄電池設備[ ] バッテリー内臓 |

●住戸用自動火災報知設備

|  |  |
| --- | --- |
| 項目 | 適合状況 |
| 住戸用受信機 | [ ] Ｐ型3級　[ ] ＧＰ型3級[ ] その他（　　　　　　　　） |
| 型式番号 | 住棟用受信機 | 受第　　　　　　　　　　　号 |
| 共同住宅用受信機 | 受第　　　　　　　　　　　号 |
| 発信機 | 発第　　　　　　　　　　　号 |
| 中継器 | 中第　　　　　　　　　　　号 |
| 感知器 | 感第　　　　　　　　　　　号 |
| 音声警報装置 | 認評放第　　　　　　　　　号 |
| 予備電源 | 品評予第　　　　　　　　　号 |
| 火災警報の警報区域 | 住戸等で火災の発生確認 | [ ] 住戸等の住戸用受信機の警戒区域[ ] 住戸等に面する共用部分 |
| 共用部分で火災の発生確認 | [ ] 当該共用部分の住戸用受信機の警戒区域 |
| 非常電源 | [ ] 非常電源専用受電設備[ ] 蓄電池設備[ ] バッテリー内臓 |

●共同住宅用非常警報設備

|  |  |
| --- | --- |
| 項目 | 適合状況 |
| 種別 | [ ] 非常ベル　　　[ ] 自動式サイレン　　　 |
| 非常ベル・自動式サイレン | 構成 | [ ] 複合装置　　[ ] 一体型　　[ ] その他 |
| 予備電源 | （DC　　　　V　　　　AH） |
| 認定番号 | 受信機 | 第　　　　　　　　　号 |
| 非常電源 | [ ] 蓄電池設備[ ] バッテリー内臓 |

●加圧防排煙設備

|  |  |
| --- | --- |
| 項目 | 適合状況 |
| 排煙口の構造 | [ ] 当該排煙口から排煙している場合において、排煙に伴い生ずる気流により閉鎖するおそれのないものである |
| [ ] 排煙用の風道に接続されているものにあっては、当該排煙口から排煙しているとき以外は閉鎖状態にあり、排煙上及び保安上必要な気密性を保持できるものである |
| 給気口の構造 | [ ] 当該給気口から給気している場合において、給気に伴い生ずる気流により閉鎖するおそれのないもの。 |
| [ ] 給気用の風道に接続されているものにあっては、当該給気口から給気しているとき以外は閉鎖状態にあり、給気上及び保安上必要な気密性を保持できるもの |
| 風道 | 構造 | [ ] 排煙上及び保安上必要な強度、容量及び気密性を有するもの |
| [ ] 風道内の煙の熱により、周囲への過熱、延焼等が発生するおそれがある場合にあっては、風道の断熱、可燃物との隔離等の措置を講ずる |
| 耐火構造の壁又は床を貫通する箇所その他延焼の防止上必要な箇所にダンパーを設ける場合 | [ ] 外部から容易に開閉することができる。[ ] 防火上有効な構造を有するものである。[ ] 火災により風道内部の温度が著しく上昇したとき以外は、閉鎖しない。この場合において、自動閉鎖装置を設けたダンパーの閉鎖する温度は、280度以上 |
| 起動装置 | 手動起動 | [ ] 防煙区画内を見とおすことができ、火災のとき容易に接近できる箇所に設ける[ ] 排煙機により排煙する防煙区画にあっては、排煙口の開放に伴い、排煙機が自動的に作動するよう設ける |
| 自動起動 | [ ] 自動火災報知設備の感知器の作動、閉鎖型スプリンクラーヘッドの開放又は火災感知用ヘッドの作動若しくは開放と連動して排煙口が開放 |
| [ ] 排煙機により排煙する防煙区画にあっては、排煙口の開放に伴い、排煙機が　自動的に作動するよう設ける。 |
| 排　煙　機 | 防煙区画の床面積250㎡未満 | 　　　　　　　　　　　　㎥/分 |
| 防煙区画の床面積 250㎡以上750㎡未満 | 　　　　　　　　　　　　㎥/分 |
| 防煙区画の床面積 750㎡以上 | ㎥/分 |
| 排煙口 | 防煙区画の床面積250㎡未満 | ㎡ |
| 防煙区画の床面積 250㎡以上750㎡未満 | ㎡ |
| 防煙区画の床面積 750㎡以上 | ㎡ |
| 給気口 | 防煙区画の床面積250㎡未満 | ㎡ |
| 防煙区画の床面積 250㎡以上750㎡未満 | ㎡ |
| 防煙区画の床面積 750㎡以上 | ㎡ |
| 非常電源 | [ ] 非常電源専用受電設備[ ] 自家発電設備[ ] 蓄電池設備[ ] 燃料電池設備 |